

編集モード練習ドリル

編集モードは、文章10文字に一回程度の使用率です。頻度が低い為なかなかマスターできません。なので集中して練習するメニューを作りました。

編集モードの目標のひとつは、「マウスをスリープさせること」です。一切キーボードから手を動かさないうまま色々やる結果、無線マウスがいつの間にかスリープしていることが、編集モードを使いこなしているかのバロメータとなるでしょう。

右手、左手と、順番に練習します。以下は縦書き想定です。横書きは適宜読み替えてください。

【右手の練習】

1 上下移動、選択、ホーム、エンド

まず次の数字を全角で打ってください。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

カーソルは21文字目にあるはずです。ここから、



- ・ 1 8の先頭へ移動してください。
 - ・ 2 0の先頭へ戻ってください。
 - ・ 1 5の先頭へ移動してください。
 - ・ 行頭へ移動して、2の先頭へ移動してください。
 - ・ 行末へ移動して、1 3の先頭へ移動してください。
 - ・ 5の先頭へ移動してください。
 - ・ 1 9の先頭へ移動してください。
- 色々なキーを組み合わせる事になると思います。正解はとくになくて、やり易いやり方でよいです。上下連打でもかまいません。続いて、
- ・ 1 9から2 0を選択してください。
 - ・ 1 5から1 1を選択してください。
 - ・ 1から5を選択してください。
- 文字選択は5単位はありません。連打で。一行の範囲で、自由に移動したり選択できるようになったら、次へ進みます。

2 文末まで消去

前に使った数字行があるとしします。

| | | | | |
|------|----|--|-----|--|
| Home | 未消 | | Del | |
| | | | | |
| | | | | |

- ・ 1 6以降文末まで消去してください。
- ・ アンドウして、7以降文末まで消去してください。
- ・ アンドウして、1 8以降文末まで消去してください。(エンドからBSでも正解です)
- ・ アンドウして、行頭から全部消去してください。

| | | | | |
|--|--|----|----|--|
| | | | | |
| | | On | On | |
| | | | | |

アンドウは普通にCtrl+Zですよ。
ホームから文末まで消去するとき、人差指が隣へ移動して動きやすいことを確認してください。

3 戻って挿入、Del

同様に、全角数字が2 0まであり、末尾にカーソルがあるとしします。

- ・ 1 3文字目に文字「挿入」を挿入してください。
- ・ 先頭に文字「先頭」を挿入してください。
- ・ 文末に戻り、文字「末尾」を挿入してください。
- ・ 文頭に戻り、「先頭」をDelで消去してください。
- ・ 文末に戻り、「末尾」をBSで消去してください。
- ・ 「挿入」を消去してださい。Del BSでも構いません。

これで簡単な編集は出来るようになりました。マウスを使わず、コントロールキーまで出張せず、出来るようになったかと思えます。

では応用編に進みます。

4 再変換

編集モードで一番使う再変換です。
まず次の文章を打ってください。

どういう感じか考える。

・「感じ」を「漢字」に再変換しましょう。

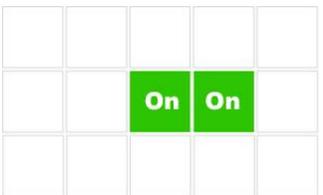
戻って「感じ」を選択して、再変換し、エンターで確定せずに、確定エン
ドで文末に戻って下さい。これが一連の再変換の動作です。



夜空の向こうには

・「向こう」の送り仮名を「向う」に再変換してください。

移動、選択、再変換が出来るようになると、変換ミスや送り仮名の修正な
どが、左手を押しながら右手ブロックだけで出来るようになります。



以下の文を打ってみてください。まずは候補選択を一度もせずに誤変換のまま確定して
から、戻って再変換して正しくしてみてください。

- ・ 貴社から汽車で帰社しました。
- ・ 帰社するには貴社の汽車が良いと思います。
- ・ 記者が汽車に乗って帰社しました。

日本語の漢字変換には誤変換がつきものです。僕はとりあえずガッツと打って確定して
から、問題なければそのまま進み、誤変換があれば戻って再変換することが多いです。そ
の方が間違っていないときのスピードが速いからです。

5 文節伸縮

以下の文は文節区切りによって二通りの解釈があります。

きょうはいしやにいった。ここではきものをぬいでください。

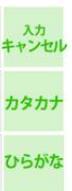
文節をどちらに取るかで、

今日は医者に行った。／今日歯医者に行った。

ここでは着物を脱いでください。／ここで履物を脱いでください。

の二通りに変換できます。二通りを書いてみてください。分節の移動、伸縮は、上下、上下選択と同じバインドです。

また一端確定してから、再変換でもやってみてください。



6 カタカナ変換

よく使うカタカナはIMEが変換してくれますが、わざとカタカナにする表現や、IMEが知らない言葉はカタカナ変換を使ったほうが早いです。次の文をカタカナ変換を用いて打ってみてください。

・そうだったのか。

・バーツと

・ホンマにカツカツやで。

・ステロネマ液とモサプルドク塩

・アレクザンダーとナサニエルは、サブリーナに同時に求婚した。



7 ひらがな変換

漢字にせずひらく（ひらがなにする）時などに使います。

・僕はそうおもう。

・夜空のむこうには

・さいきん、そういうことが多いですね。

書きながらひらがな変換を使う場合／確定してから漢字をひらがなにしたいと思って再変換する場合と、両方やってみてください。

8 入力キャンセル

変換中、変換前、文節移動中など、確定前であれば、入力前に戻ります。

次の文を打ちかけたが、やっぱりやめて白紙に戻してください。

・君のことが好きです

・死んじまえくそ野郎

・ご報告があります

・犯人はヤス

9 横移動、行選択、ブロック単位のコピへ

ここまでは一行以内の短い文字数の話でしたが、行に拡張します。

一行単位の移動／選択は、単打の **⌘** 位置／シフトを利用してください。

5行単位の移動や選択が、編集モード2に入っています。まずは自分の書いた文章を用意してください。複数の段落に分けられているものがよいです。それを素材に編集します。

仮に4段落あるとします。

・ 1 2 3 4の段落を、2 1 3 4にしてください。

行選択、カット、ペーストを使います。

また、ホームまで選択、エンドまで選択も併用するかもしれません。間違えたときは、アンドウ、リドゥなどを使うかもしれません。

・ 1 2 3 4の段落を、1 4 2 3にしてください。

・ 1 2 3 4の中でもっとも言いたかった文をコピーして、第五段落に、つまりこの文章の要点は「」である。

と書いて、「」の中にペーストしてください。

これも、ほとんど左手を押しながら操作できるように調整されています。



【左手の練習】

同様に、左手部をマスターしましょう。

右手は編集の為のショートカットでしたが、左手は「保存」と「最末尾」を除いて、すべて記号の機能です。

1 保存

次の歌詞を初めて書いている気分になって、消えてはいけないとこまめに保存してみましよう。○の入っていると保存してみてください。

| | | | | |
|--|--|----|----|--|
| | | | | |
| | | On | On | |
| | | | | |

2 最末尾

ちっちゃな頃から悪ガキで○
十五で不良と呼ばれたよ○
ナイフみたいに○尖っては○
触る物みな○傷つけた○

| | | | | |
|------|--|----|--|--|
| ←最末尾 | | 保存 | | |
| | | | | |
| | | | | |

段落の編集の続きです。
・1 2 3 4を1 4 2 3に編集したのち、ファイルの末尾に復帰して、最新部を書き足してください。

3 記号類 1 「」○? ! …… —— ……

| | | | | |
|--|--|----|----|--|
| | | | | |
| | | On | On | |
| | | | | |

記号類は全て確定が入っています。変換する必要がないからです。文末に来るときは確定代わりに打てます。(「。確定」と同じ使い方)
次の文章を書いてください。

・「そんなこと言っても」と彼は言った。
・それはない(いやある)
・「なんだそれは? 見せてみる!」と警官は言うが、僕は拒否の構えだ(だつてヤバイから)。

| | | | | |
|---|--|---|---|-----|
| | | | | 未確定 |
| … | | ? | 「 | （ |
| | | ! | 」 | ） |

・統計(令和3年)によると、
・なんで? なんだの!
・「マジで辛いです……」
・——それがどうしたというのだ?
※ お使いのエディタ、IMEでは「|」が正しく出ない場合があります。まず、「ダッシュ」で出るもの二文字を登録しておきましょう。

1 カギカッコのマクロ

会話劇では頻繁に会話の切り返しがあります。
以下のような会話をマクロを使用して書いてください。

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

「あなたはそう言うけど」

「じゃあお前はどうかんだ」

「なんでお前呼ばわりするのよ」

「それは論点じゃないだろ」

「大事なことよ」

「なんでいつもそうなんだ……」

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

また、会話から復帰して地の文に戻るときもマクロが使えます。

「まあそんなこと言わずに」

と私は彼女の肩を揉んだ。

「それでごまかせると思う？」

彼女はむしろ怒り始めた。

「あ、そういえば」

こうなったらなんでもいい。誤魔化しきってやる。

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

2 ふりがなの練習

青空文庫のふりがな記法が使えます。
単体の記号とマクロと二種類あるので、適宜使い分けて下さい。

- ・自分の名前にふりがなを打ってみてください。
- ・役行者 ≪えんのぎようじや≫ が開山した山は、
- ・獯猛 ≪どうもう≫ な野獣
- ・富士 ≪ふじ≫ 山は不死 ≪ふし≫ 山から来ている
- ・それは簡単 ≪イージー≫ だぜ
- ・私とあなた ≪ナイス・コンビ≫ で、

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

